

追加参考資料

<1. 地域別クロス集計結果>

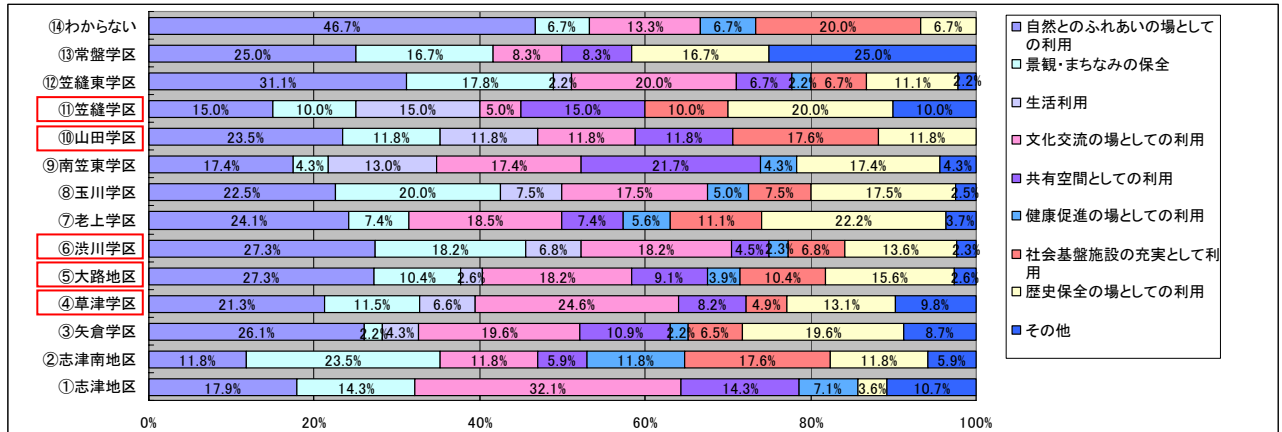
<2. 問 15 において①を選択した人を対象にしたクロス集計結果>

<1. 地域別クロス集計結果>

問 11

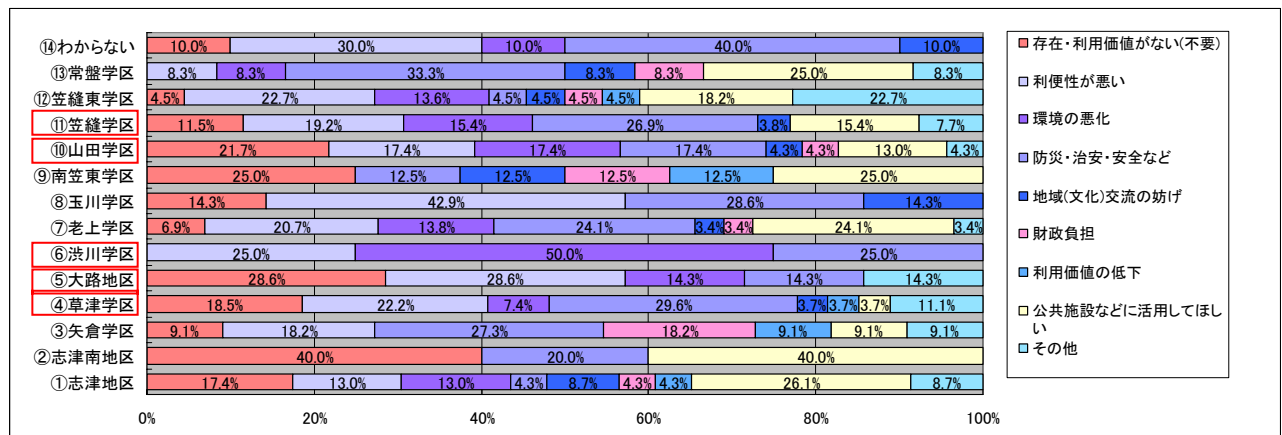
《良いと感じる理由》

- ・ どの学区も「自然とのふれあいの場としての利用」の割合が高い。
- ・ 「文化交流の場としての利用」については志津地区、矢倉学区、草津学区、大路地区で高く、「歴史保全の場としての利用」については、矢倉学区、玉川学区、老上学区、笠縫学区で割合が高みられる。



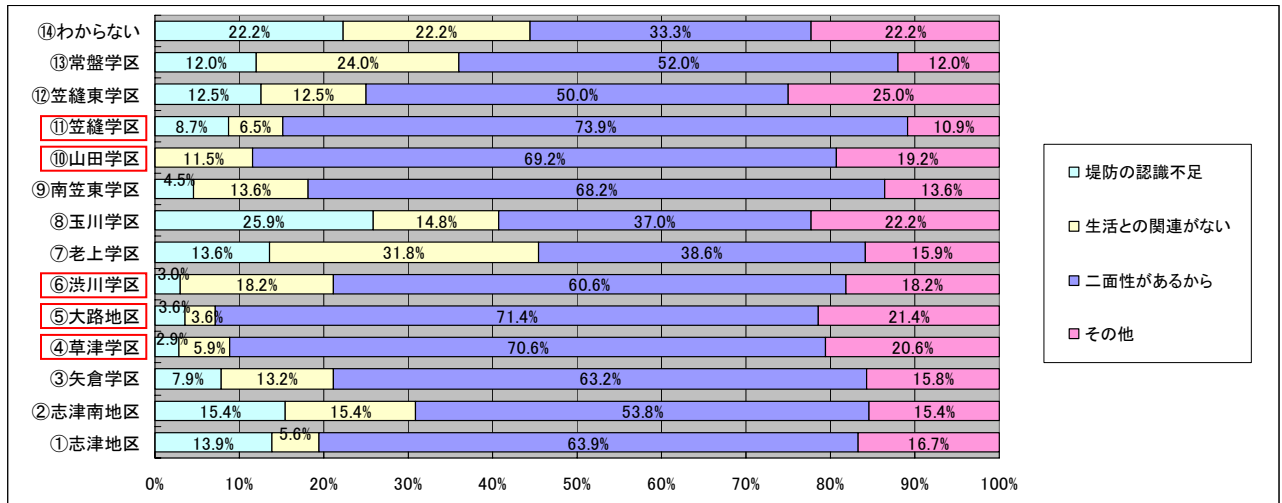
《良くないと感じる理由》

- ・ どの地区・学区も「利便性が悪い」の割合が高い。
- ・ 「防災・治安・安全」については、矢倉学区、草津学区、洪川学区、玉川学区、笠縫学区において25%以上となっている。
- ・ 特に旧草津川沿いでない地区・学区（志津、志津南、老上、南笠東、常盤）では、「公共施設などに活用してほしい」の割合が高くみられる。



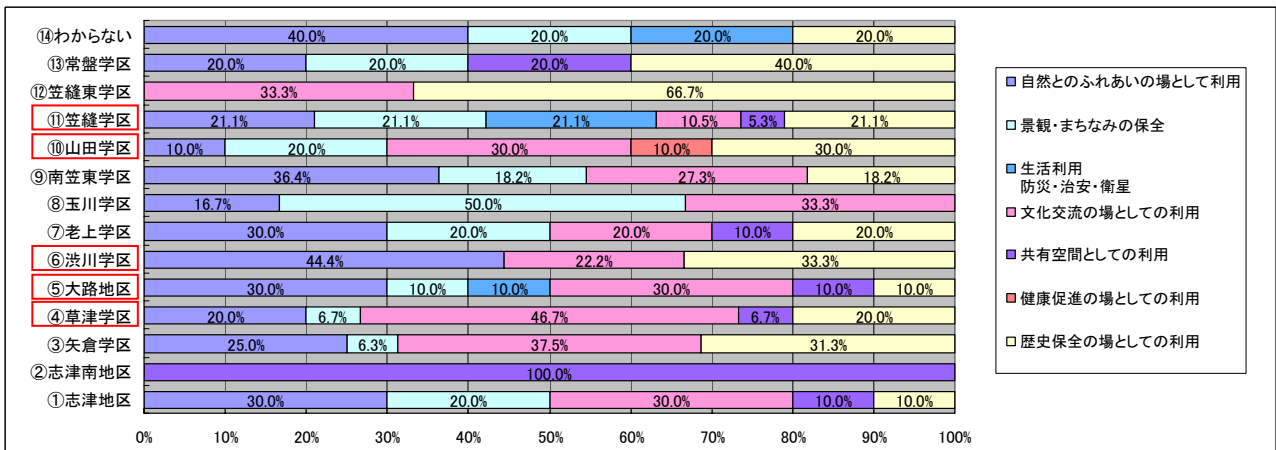
《どちらでもないと感じる理由》

- 特に旧草津川沿いの地区・学区（草津、大路、山田、笠縫）では、旧草津川沿いでない学区に対し、「二面性があるから」の割合が高くみられる。



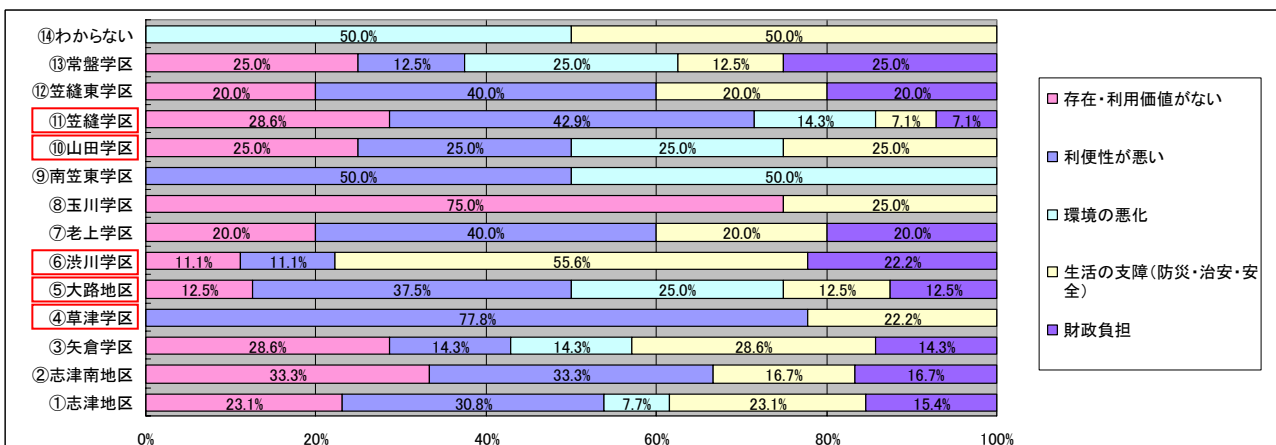
《二面性のうち、よい面》

- 中心市街地である草津学区、大路地区では「文化交流の場としての利用」の割合が高くみられる。



《二面性のうち、わるい面》

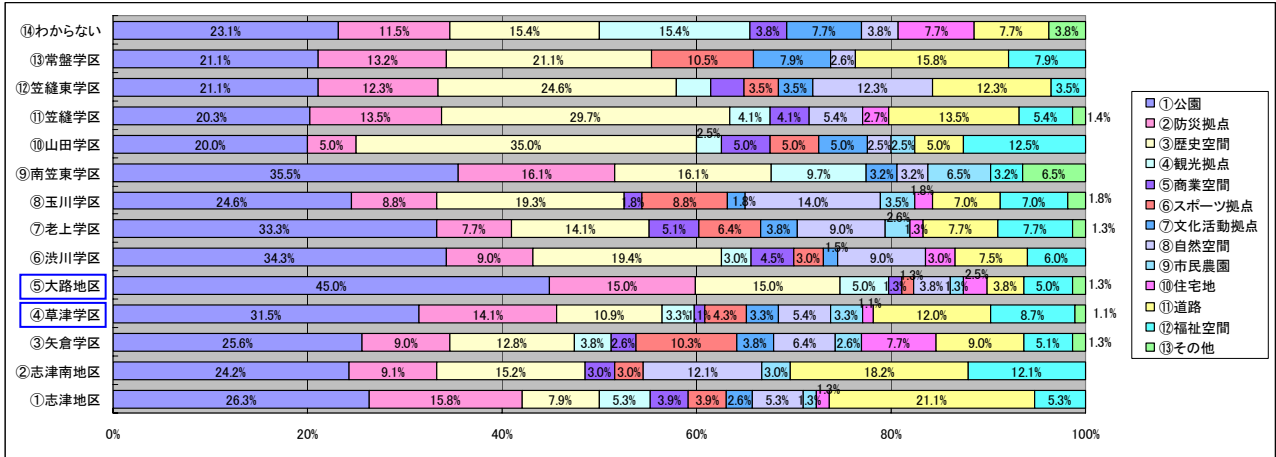
- 洪川学区では「生活の支障（防災・治安・安全）」が55.6%と高くなっている。
- 草津学区では「利便性が悪い」が77.8%と高くなっている。



問 14

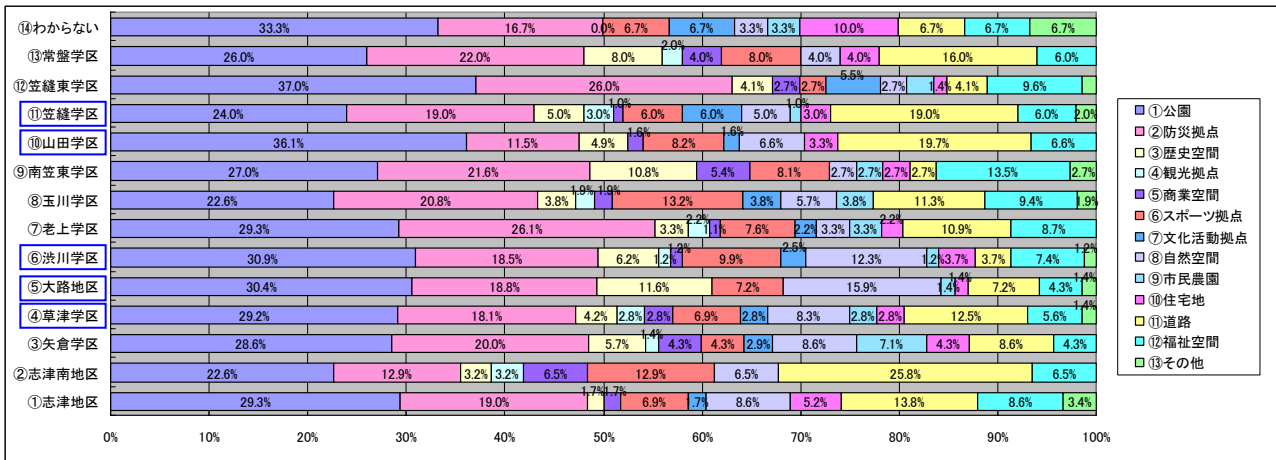
《A ゾーン》

- ・A ゾーン北側の沿川にある大路地区では、「公園」が 45.0%、「防災拠点」「歴史空間」が 15.0%を占めている。
- ・A ゾーン南側の沿川にある草津学区では、「公園」が 31.5%、「防災拠点」が 14.1%を占めている。



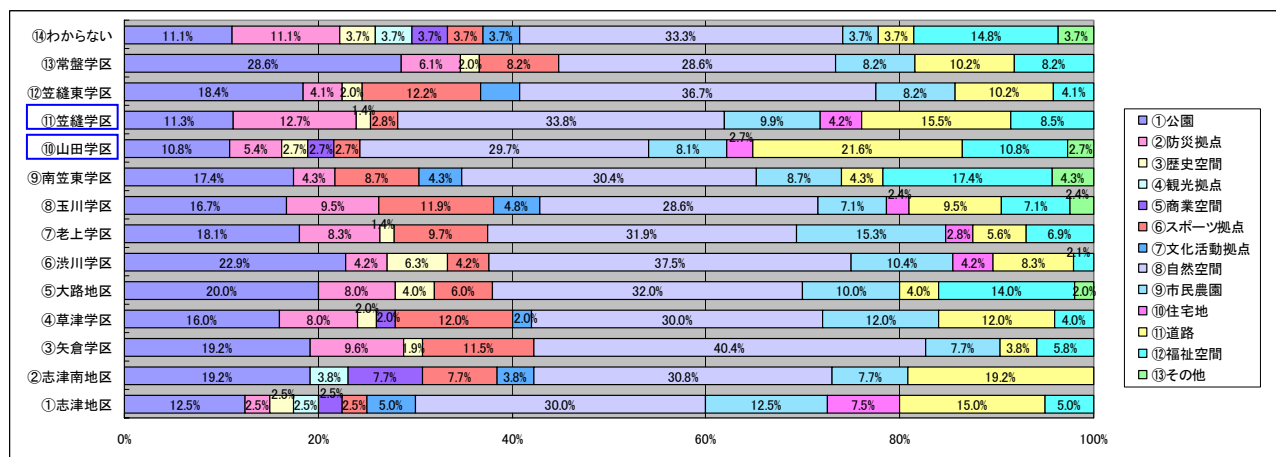
《B ゾーン》

- ・B ゾーン北側の沿川にある洪川学区、大路地区、笠縫学区では、「公園」が 25%程度、「防災拠点」が 19%程度を占めている。
- ・B ゾーン南側の沿川にある草津学区、山田学区では、「公園」が 30%程度、次いで「防災拠点」、「道路」の割合が高くみられる。



《C ゾーン》

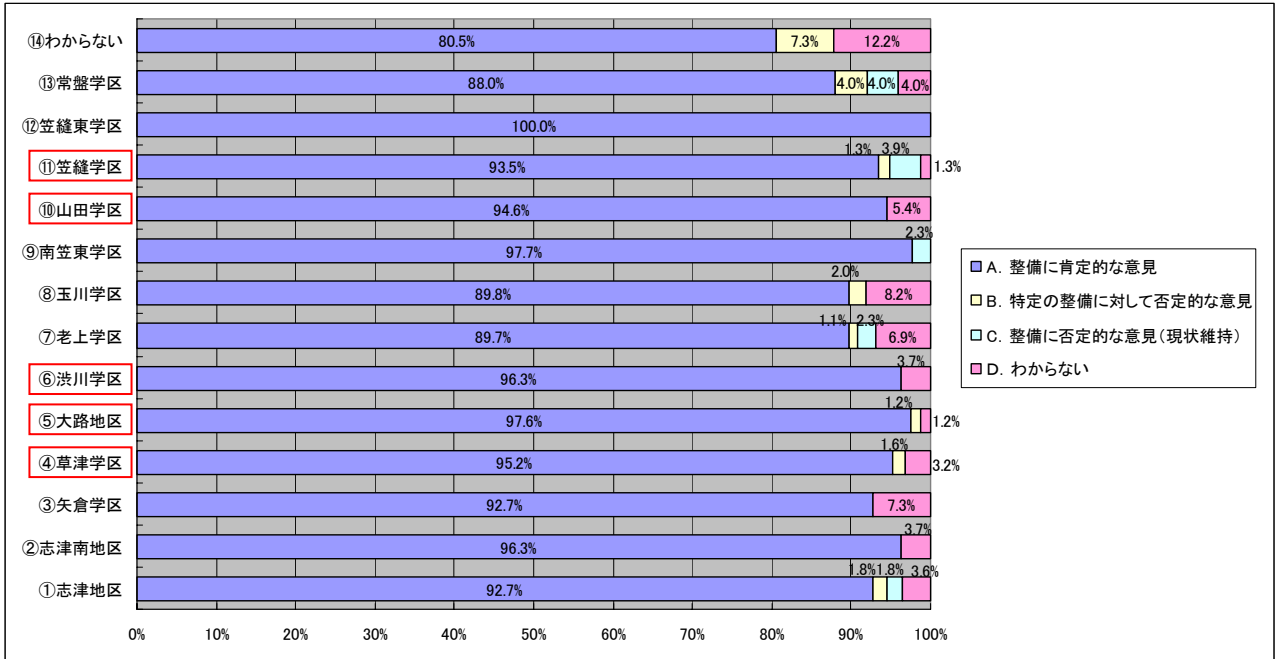
- ・C ゾーン沿川にある笠縫学区、山田学区では「道路」の割合が 15%以上となっている。



問 16

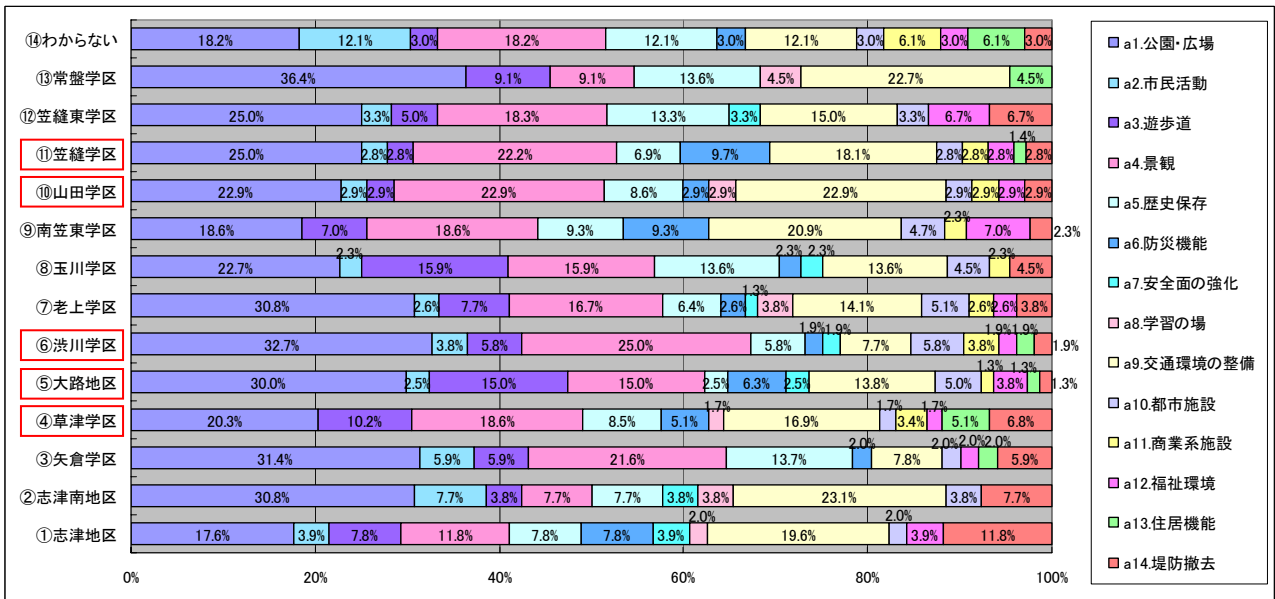
《意見の傾向（全体）》

- ・ 地域別に意見の傾向を分析しても、どの地区・学区についても整備に肯定的な意見が90%程度占めている状況である。



《意見の傾向（整備に肯定的な意見）》

- ・ 旧草津川沿川にある地区・学区（草津、大路、洪川、山田、笠縫）では、「公園・広場」、「景観」の割合が高くみられる。
- ・ 旧草津川沿川でない地区・学区では、「公園・広場」「景観」に加え、「交通環境の整備」についても割合が高くみられる。

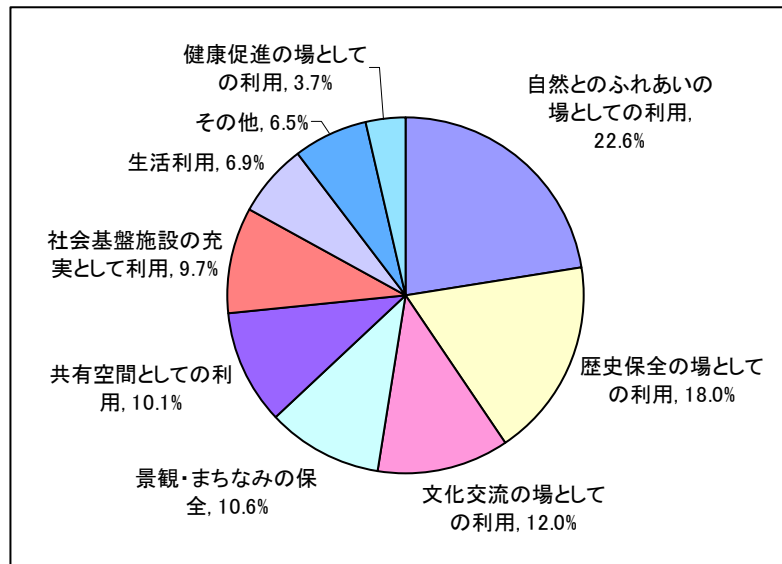


<2. 問 15 において①「旧草津川全域で堤防は残した方が良い」を選択した人を対象にしたクロス集計結果>

問 11

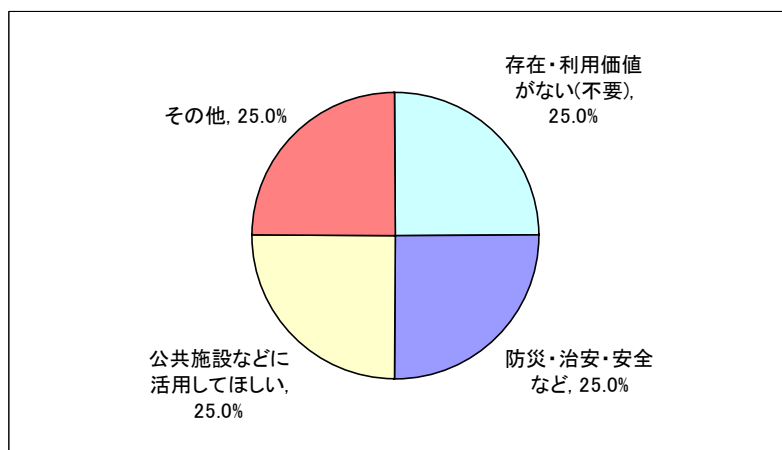
《良いと感じる理由》

- ・ 「自然とのふれあいの場としての利用」が 22.6%、で最も多く、「歴史とのふれあいの場としての利用」に関する記述（18.0%）、「文化交流の場としての利用」に関する記述（12.0%）の順となっている。



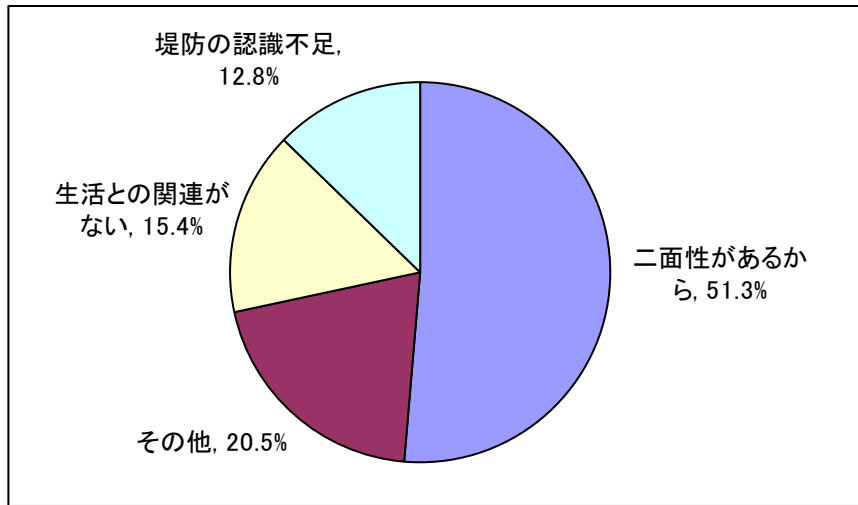
《良くないと感じる理由》

- ・ 「存在・利用価値がない」、「防災・治安・安全など」、「公共施設などに活用してほしい」、「その他」が 25.0%と大きく 4 つに分かれている。



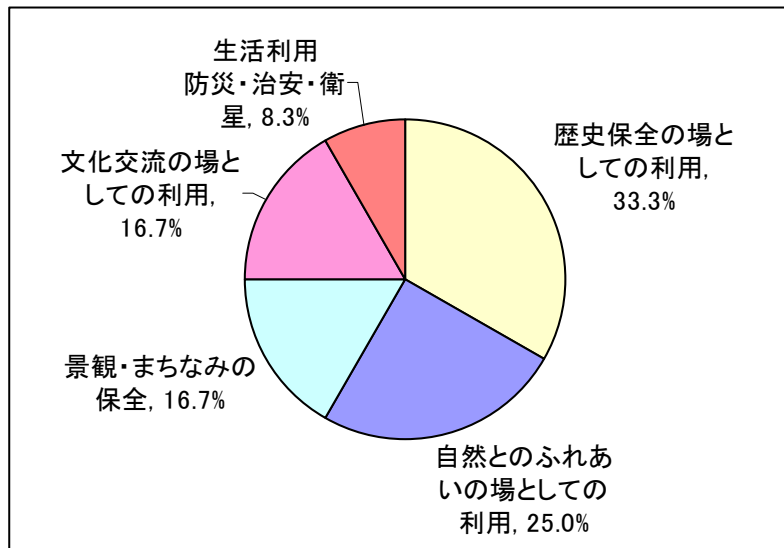
《どちらでもないと感じる理由》

- 「二面性があるから」という記述が 51.3%で最も多く、次いで「その他」(20.5%)、「生活との関連がない」(15.4%) という意見に分かれている。



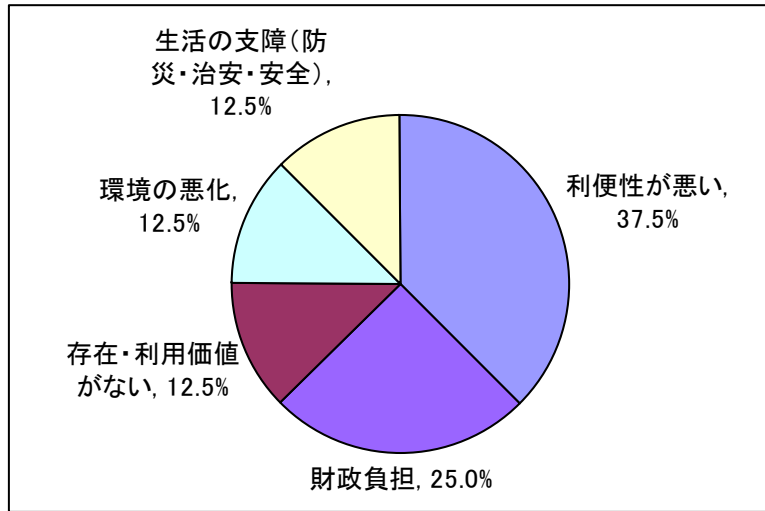
《二面性のうち、よい面》

- 「歴史保全の場としての利用」という記述が 33.3%で最も多く、次いで「自然とのふれあいの場としての利用」(25.0%)、「景観・まちなみの保全」(16.7%) に関する記述の順となっている。



《二面性のうち、わるい面》

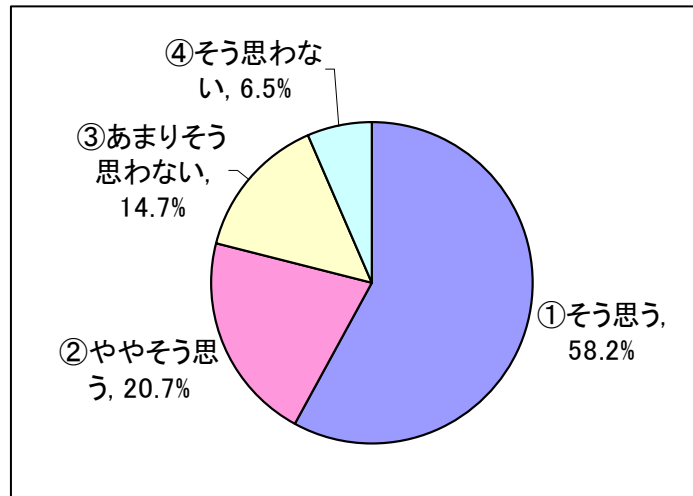
- ・ 「利便性が悪い」という記述が 37.5%で最も多く、次いで「財政負担」(25.0%)、「存在・利用価値がない」「環境の悪化」「生活の支障(防災・治安・安全)」(12.5%)に関する記述の順となっている。



問 12

《草津川廃川敷地を整備する必要があるか》

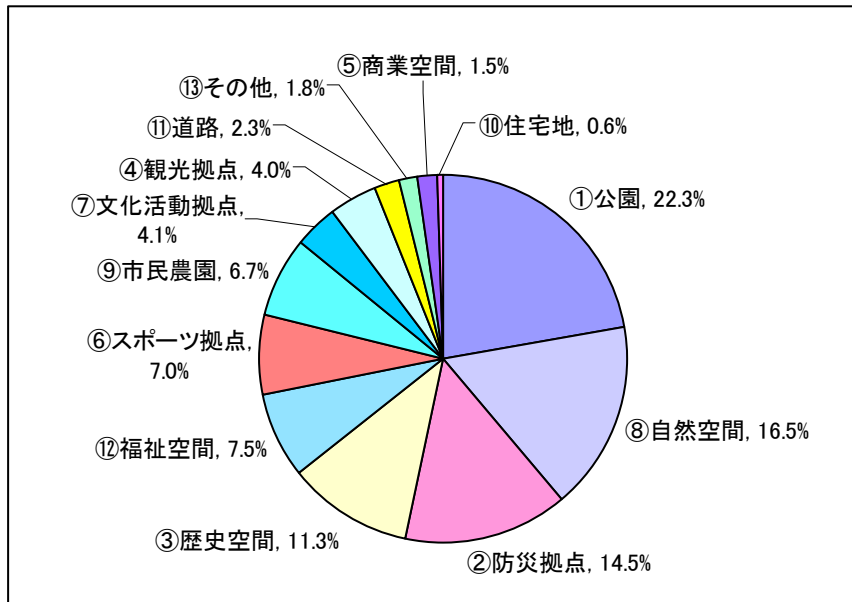
- ・ 「そう思う」が 58.2%で最も多く、次いで「ややそう思う」(20.7%)、「あまりそう思わない」(14.7%)の順となっている。



問 13

《草津川廃川敷地をどのような状態にするべきか》

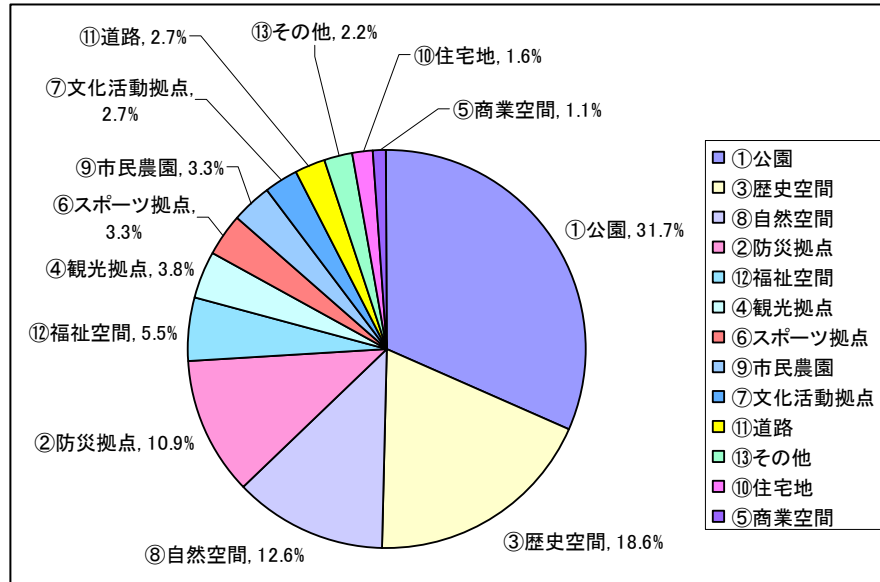
- ・ 「公園」が 22.3%で最も多く、次いで「自然空間」(16.5%)、「防災拠点」(14.5%)の順となっている。



問 14

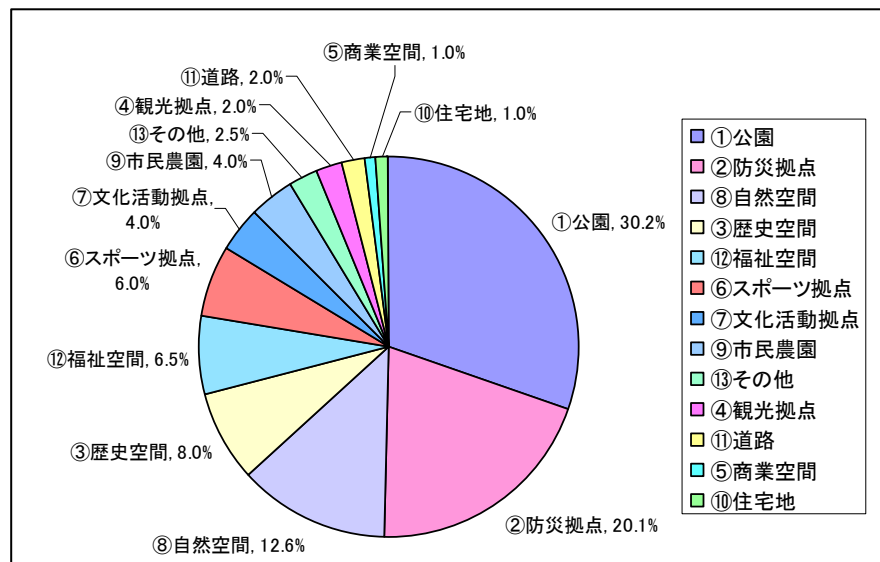
《A ゾーン》

- ・ 「公園」が31.7%で最も多く、次いで「歴史空間」(18.6%)、「自然空間」(12.6%)の順となっている。



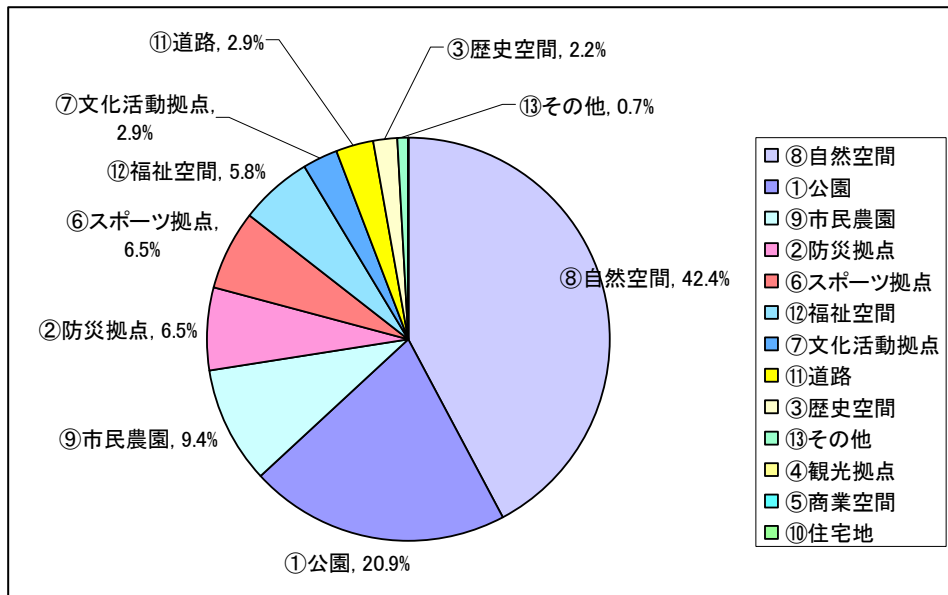
《B ゾーン》

- ・ 「公園」が30.2%で最も多く、次いで「防災拠点」(20.1%)、「自然空間」(12.6%)の順となっている。



《Cゾーン》

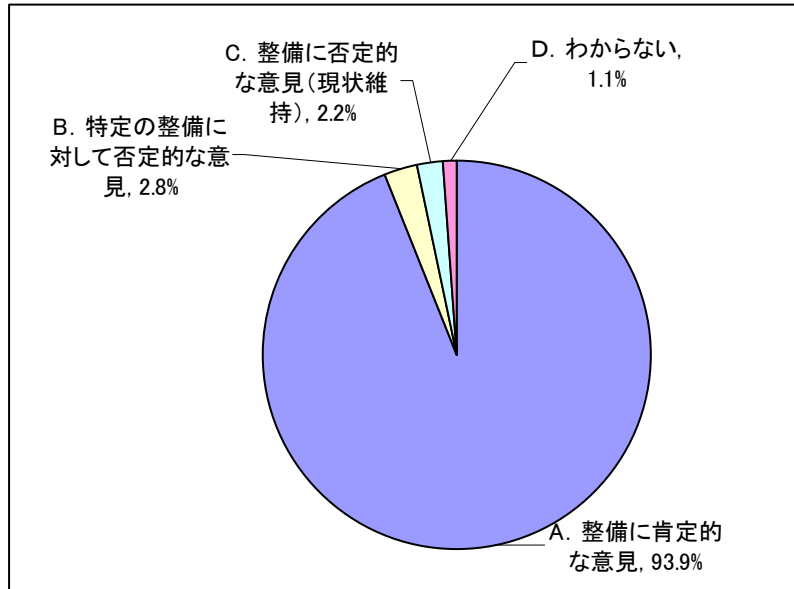
- ・ 「自然空間」が42.4%で最も多く、次いで「公園」(20.9%)、「市民農園」(9.4%)の順となっている。



問 16

《意見の傾向》

- ・ 「整備に肯定的な意見」が93.9%で最も多く、次いで「特定の整備に対して否定的な意見」(2.8%)、「整備に否定的な意見(現状維持)」(2.2%)の順となっている。



《意見の傾向(整備に肯定的な意見)》

- ・ 「公園・広場」が28.8%で最も多く、次いで「景観」(18.2%)、「歴史保存」(11.8%)の順となっている。

